



2026年3月期

# 決算説明

2026年5月

シマダヤ株式会社

証券コード：250A

1 2026年3月期 決算説明

2 2026年3月期 事業概況

3 2027年3月期 業績予想

4 事業戦略・株主還元

1

# 2026年3月期 決算説明

増収増益。売上高、営業利益ともに過去最高を更新

売上高

4 1 0 億円  
前年同期比 +3.6%

- 過去最高を更新
- 家庭用・業務用ともに増収

営業利益

3 7 億円  
前年同期比 +11.7%

- 価格改定効果や経費抑制で過去最高を更新

親会社株主に  
帰属する  
当期純利益

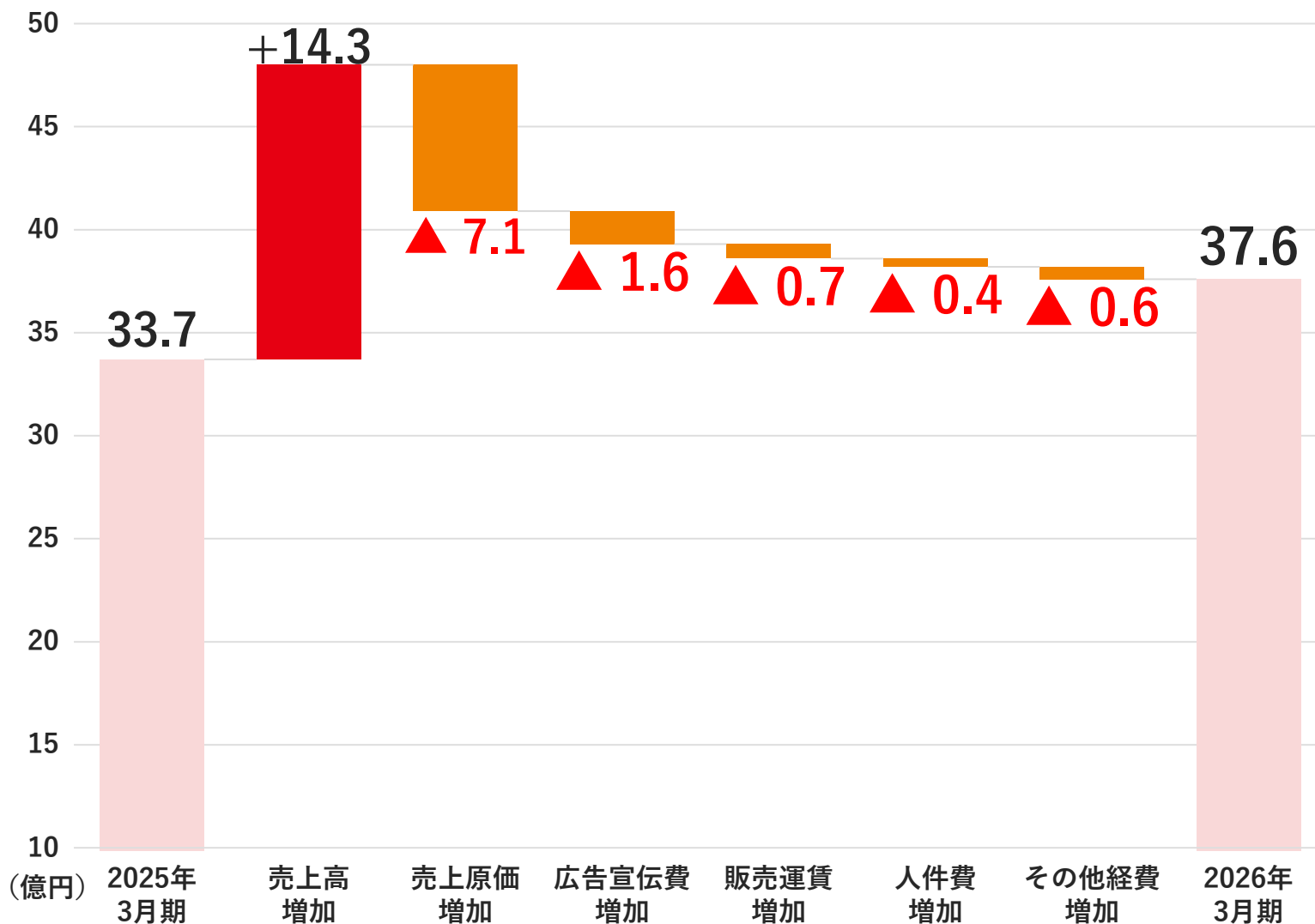
2 5 億円  
前年同期比 +1.6%

- 収益改善に向けた仙台工場閉鎖による減損計上も増益

## 連結損益計算書

単位：百万円、%

	2026年3月期			2025年3月期	
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比
売上高	41,061	-	+3.6	39,625	-
営業利益	3,768	(9.2)	+11.7	3,372	(8.5)
経常利益	3,874	(9.4)	+12.3	3,449	(8.7)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,596	(6.3)	+1.6	2,554	(6.4)
1株当たり当期純利益 (円)	171.15	-	-	167.99	-



## 事業別売上高増加額

(億円)

事業	金額
家庭用	5.6
業務用	8.6

## 売上原価増加主な要因

(億円)

科目	金額
製造固定費	▲4.6
原材料	▲1.2
仕入運賃	▲1.8
製造労務費	▲0.3
エネルギー費	+0.8

## 連結貸借対照表

	2025年 3月期	2026年 3月期	前期末比 (増減額)	主な増減要因
流動資産	12,240	11,161	▲1,079	商品及び製品増加 + 100、現金及び預金減少▲1,230
（有形固定資産）	10,758	12,721	1,963	
（無形固定資産）	76	76	0	
（投資その他の資産）	1,749	2,045	295	
固定資産	12,584	14,843	2,259	
総資産	24,824	26,004	1,179	
（流動負債）	5,273	5,998	725	
（固定負債）	1,493	1,544	51	
負債	6,766	7,542	776	
（株主資本）	17,231	17,523	292	当期純利益獲得 + 2,596、自己株式取得▲1,422、配当金支払▲881、
（その他の包括利益累計額）	827	938	111	
純資産	18,058	18,462	403	
負債・純資産	24,824	26,004	1,179	
自己資本比率	72.7	71.0	▲1.7	

# 5 連結キャッシュ・フローの状況



## 連結キャッシュ・フロー計算書

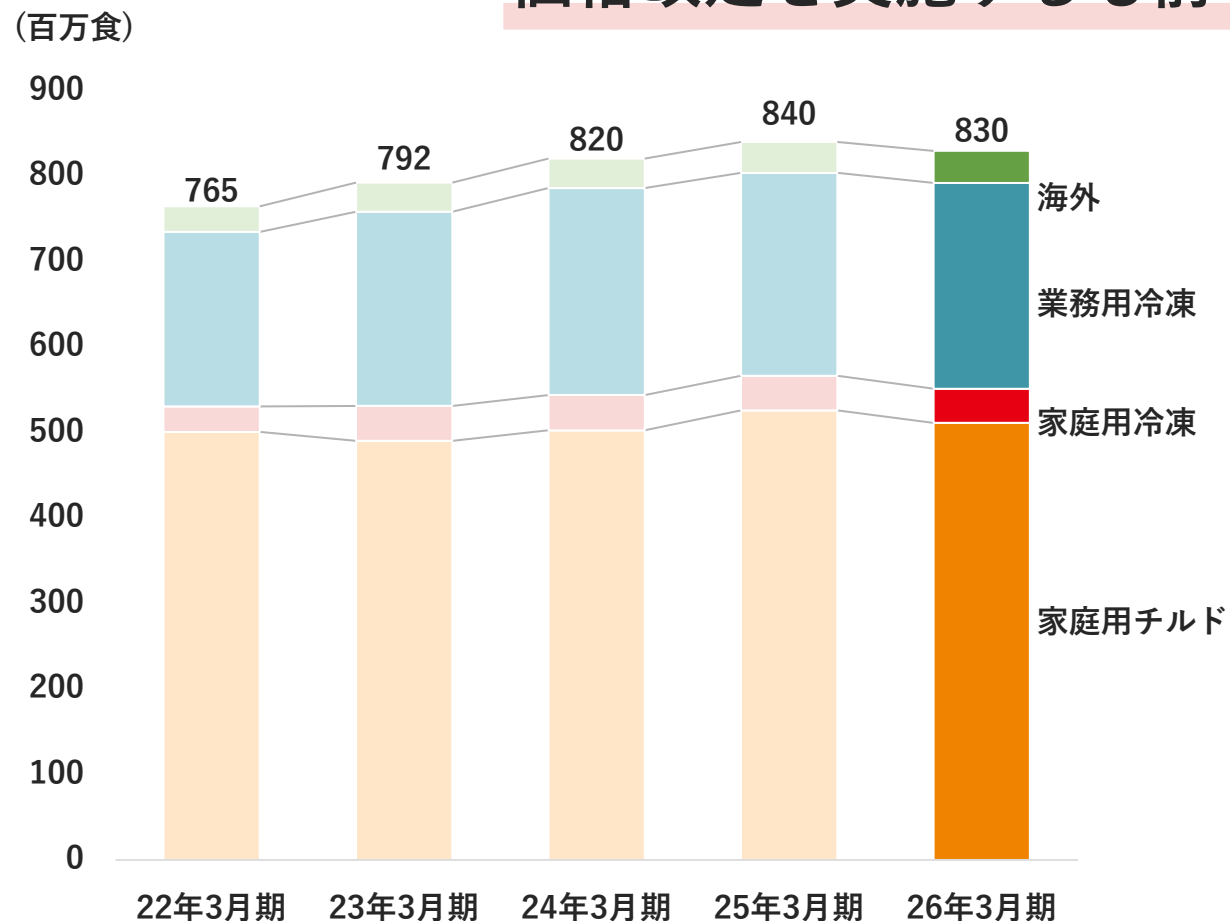
単位：百万円

	2026年 3月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,019	税金等調整前当期純利益3,615、減価償却費1,566、減損損失211、その他債務減少による資金減少▲209、法人税等の支払▲1,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,916	有形固定資産の取得▲2,852、無形固定資産の取得▲31、有価証券の取得▲29
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,333	自己株式の取得▲1,422、配当金の支払▲881
現金及び現金同等物の増減額	▲1,230	
現金及び現金同等物の期首残高	5,579	
現金及び現金同等物の期末残高	4,349	

2

# 2026年3月期 事業概況

## 価格改定を実施するも前年同期並みの食数を確保



価格改定

22年  
3月

23年  
2月

25年  
2月

### 家庭用チルド

「流水麺」は微減するも健康志向の「健美麺」ブランドの食数は前年を上回る

### 家庭用冷凍

経済性価値の高い5食タイプの素材麺拡大も具付き麺の縮小等により前年同期並み

### 業務用冷凍

新規獲得等による「太鼓判」ブランドの拡大や「流水α麺」3品体制で販売拡大

### 海外

販売先により好不調があるものの主力商品が堅調に推移し微増

## 2 事業概況【家庭用】



### 主カブランド売上高

家庭用事業計 前年同期比**102.3%**

#### 「流水麺」



前年同期比**102.4%**

- サラダめんのメニュー提案を訴求
- そうめん、冷し中華が堅調に推移

#### 「太鼓判」



前年同期比**106.2%**

- 節約意識の高まりにより需要増加
- 西日本エリアで伸長

#### 「健美麺」



前年同期比**106.7%**

- 健康志向の高まりで伸長
- 食塩ゼロ・糖質カット本そばが伸長

※売上高前年同期比はリベート等控除前の比較

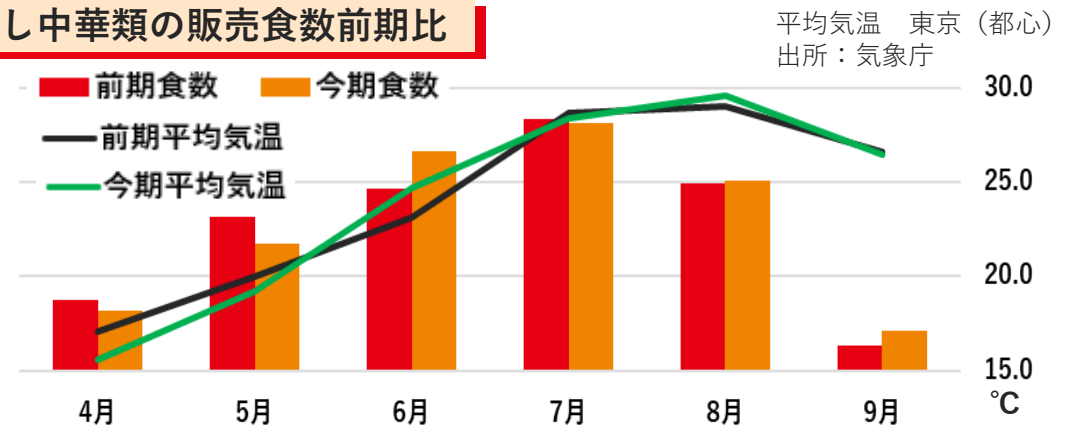
### 「流水麺」食べ方提案



テレビCMでサラダ「流水麺」訴求 食の展示会で試食提供  
 サラダめん提案で簡便さと栄養バランスを訴求

### 冷し中華類販売好調

冷し中華類の販売食数前期比



記録的猛暑・残暑により受注が増加

# 3 事業概況【業務用】



## 主カブランド売上高

業務用事業計 前年同期比**105.9%**

### 「太鼓判」

前年同期比**106.1%**

- 新規獲得が貢献
- 節約意識の高まりにより需要増加



### 「真打」

前年同期比**101.9%**

- 得意先毎濃淡あるものの前年から微増
- 国産原料使用商品が好調



### 「流水α麺」

前年同期比**135.8%**

- うどん、そば、中華3品体制で拡売
- ホテルバイキングなどにも採用



※売上高前年同期比はリベート等控除前の比較

## 国産原料使用商品の拡充



信州産抜き実石臼挽きそば粉ブレンド 信州そば 「真打」ふわごし博多うどん (九州産小麦使用)

品質価値の強化と食料自給率の向上を訴求

## 「流水α麺」リニューアル

復活発売



「流水α麺」讃岐うどん 「流水α麺」中華めん

流水解凍可能

時間経過後品質保持

業務用市場の課題である人手不足対策として提案

3

# 2027年3月期 業績予想

## 増収も生産性向上投資にも 注力し減益見込み

### 2027年3月期連結業績予想

単位：百万円、%

	2027年3月期			2026年3月期	
	予想	構成比	前年同期比	実績	構成比
売上高	43,400	-	+5.7	41,061	-
営業利益	3,700	(8.5)	△1.8	3,768	(9.2)
経常利益	3,730	(8.6)	△3.7	3,874	(9.4)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,600	(6.0)	+0.2	2,596	(6.3)
1株当たり当期純利益 (円)	181.75	-	-	171.15	-

# 4

## 事業戦略・株主還元

# 1 長期ビジョン・中期経営計画・事業戦略



長期  
ビジョン

SCG100 (Shimadaya Change & Growth100)

麺食を通して価値創造を実現し人を笑顔にする会社

創業100周年  
(2032年3月期)

中期  
経営計画

Change95

2025～27年3月期

構造変革期

Growth100

2028～32年3月期

成長期／新領域開拓期

経営計画の実現

事業戦略

< 当社の強み >

- 麺専門の技術力
- 業務用の実績
- 生産・物流体制

成長戦略

“冷凍麺へのシフト”で成長企業への転換を実現  
～工場再編・冷凍ライン強化・自動化へ投資～

- 家庭用チルドの収益改善
- 業務用冷凍の拡大
- 成長マーケット(家庭用冷凍、海外冷凍)への展開加速

スローガン

# Change95

基本方針

- Change95を完遂し、成長軌道へ踏み出す

基本戦略

- ① コア事業への踏み込んだ取り組みにより、収益力を向上させる
- ② 新事業領域での販売拡大に挑戦する
- ③ 持続的成長に向けた生産物流体制を創り上げる
- ④ 開発スピードを上げ、ヒット商品を創出する
- ⑤ 業務の棚卸とデジタル技術の活用により、生産性を向上する

KPI

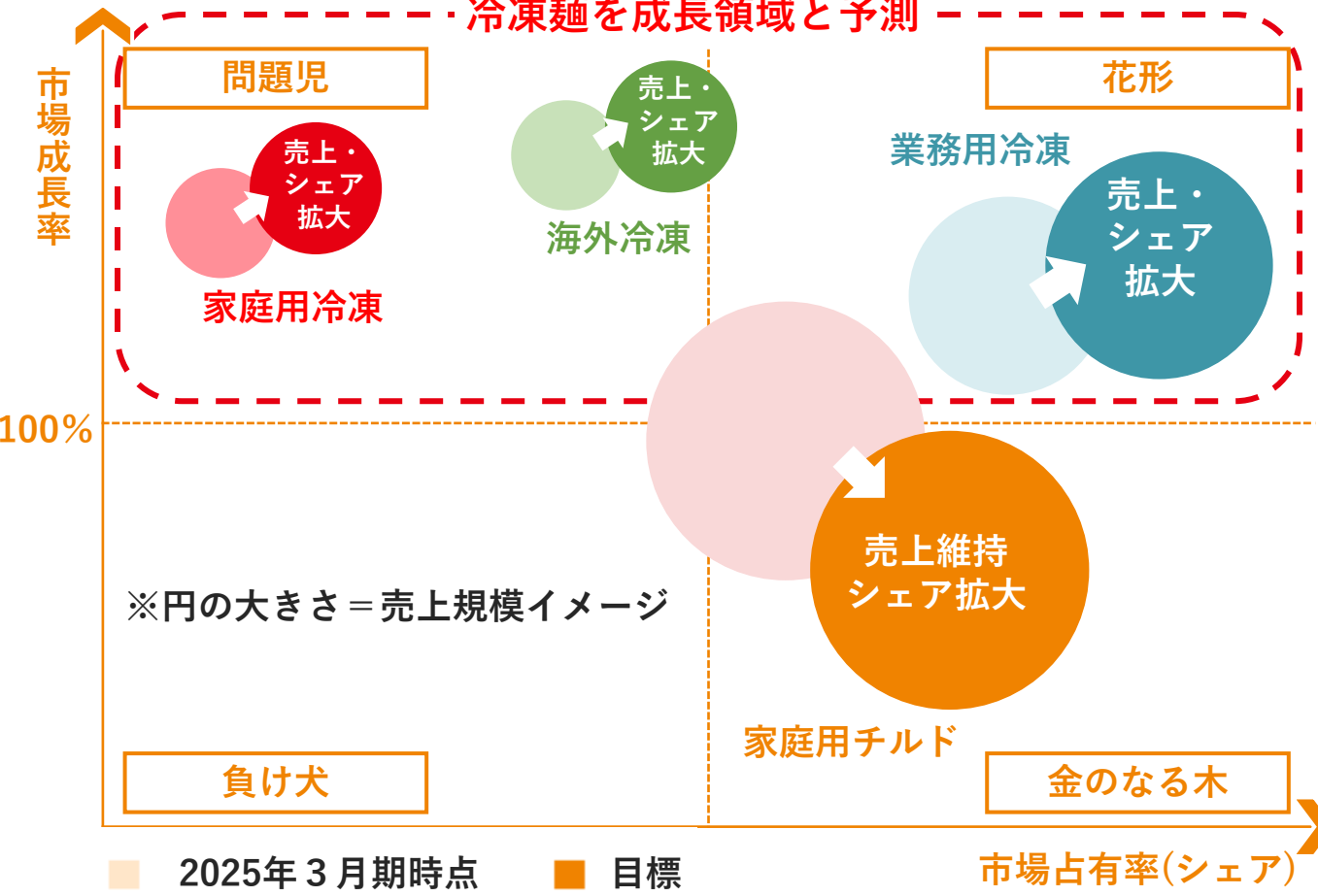
	目標	実績（2026年3月期）	進捗率
売上高	430億円	410億円	95%
EBITDA	55億円	52億円	96%
冷凍麺売上比率	42%	41%	97%

# 3 事業戦略



## 各事業でのシェアUPに取り組み、成長が見込まれる「冷凍麺」への投資を強化

冷凍麺を成長領域と予測



家庭用事業	家庭用チルド	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基幹ブランド強化による収益改善</li> <li>■ 『下期』『西日本』の売上拡大</li> </ul>
	業務用冷凍	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積極的な新規顧客獲得による市場成長率を上回る販売拡大</li> <li>■ 九州エリアでの販売拡大</li> </ul>
成長マーケット開発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家庭用冷凍</li> <li>■ 海外冷凍</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業活動を通じた戦略の立案</li> <li>■ ターゲット国(海外)・重点企業(家庭用冷凍、海外)との取組強化</li> </ul>

## 中計戦略に基づき生産体制を変革

2026年4月

## 「SCM統括部」新設

■生産・物流に関して、全社横断で最適化推進、サプライチェーン全体での安定供給及び効率化を図る

■Growth100に向けて新生産体制検討

※「SCM統括部」は、2026年2月10日開示の「組織変更及び役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。  
<https://www.shimadaya.co.jp/ir/news/>

## チルド麺生産再編

2026年4月～チルド麺工場7⇒6体制へ再編  
今後も生産効率の向上と収益構造の強化を図る

## 冷凍麺生産増強



2026年6月 冷凍麺新ライン稼働予定  
【シマダヤ関東(株)前橋工場敷地内に建設】  
冷凍麺の生産能力が約10%向上

# 5 株主還元



## 配当方針

連結配当性向30～40%を目安とした  
安定配当を実施

	2027年3月期 予想		2026年3月期 実績	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,600		2,596	
1株当たり純利益 (円)	181.75		171.15	
1株当たり配当金 (円)	中間	27.00	中間	26.00
	期末	27.00	期末	(予定)26.00

## 株主優待

毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載または  
記録された、当社株式100株（1単元）以上を  
同一株主番号で6ヶ月以上継続保有の株主様対象

100～299株  
1,000円相当



300株以上  
3,000円相当



※製品画像は詰合せ商品イメージです  
※寄付も選択可能

## 免責事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

本資料に関するお問い合わせ先  
シマダヤ株式会社 経営企画部 IR担当  
TEL：03-5489-5506  
E-mail：ir@shimadaya.co.jp